

かがやきプラス

中学生
家庭版



テーマ | 支えよう 子どもの夢と可能性

信じて見守ることが親の役割!

人財教育家・メンタルコーチ いいやま じろう 飯山 昶朗

(オリンピックメダリストや地元高校のメンタルコーチとしても活躍中)

子どもは、親の背中を見て育つ

親の関わり方で子どもの将来が決まる! と言うと、どのようにお感じになるでしょうか。私も親の立場です。今は息子も娘も成人し、社会人として活躍してくれていますが、小中学校時代は何かと問題が山積みでした。そんな中で感じたのは、子どもの教育は家庭で行う必要があるということです。具体的に言うと、親の関わり方が子どもの将来に大きく影響を与えているということなのです。これは、現在メンタルコーチとして中学校や高校の部活動などで生徒たちと接しているとよく分かります。

学校の先生方も一生懸命生徒と向き合ってくれています。しかし、学校は学習する場です。教

育は家庭で行う必要があるのです。なぜなら今の子ども達は親の言うことをある意味素直に受け取るからです。自分のことをどのように思っているのかを敏感に察知しています。面白いほどに親の思っている通りの行動をとり、親が家庭で使っている言葉や態度を真似ています。だから「子どもは親の背中を見て育つ」と言うのですね。

一番の応援団

さて、子どもは親の影響が大きいということが分かれば、親としてどのような関わり方をしていけば良いのかということになります。関わり方と言ってもそんな大袈裟なものではありません。「あれダメ」「これダメ」という《ダメ教育》ではなく、「できるよ」「やってみよう」という《夢教育》をしましょう。親は子どもの一番の応援団ですからね。

まず親の皆様は質問です。「夢はありますか?」この質問になんと答えるでしょうか。自分には夢がない(夢を持ったことがない)のに、子どもに夢を押し付けるケースがあります。これでは子どもは夢を持っていません。そもそも夢に対してマイナスの感情を抱いてしまいます。だから「どうせ」



「でも」「だって」などの言葉で「できない理由」を並べ、諦めやすくなるんですね。

ワクワク感が重要

ぜひご家庭で「夢」について話してみてください。「夢ってなんだろう」「夢があるのとないのとでは何が違うのだろう」と話をしているうちにワクワクしてくると思います。実はこの“ワクワク感”がとっても重要なのです。夢はワクワクするものです。逆に言うとワクワクしないものは夢とは言いません。だから「しなければいけないこと」を夢にしないで欲しいのです。子ども達は親の顔色を伺い、親が喜びそうなことを「夢」として話をするともあります。しかし、こんなウソの夢が叶うことはありません。脳の機能からもワクワクしないことは続かないからです。

信じて見守ることが親の役割

子どもがワクワクしながら話すことに耳を傾け

ましょう。そうすると子どもは、親は自分を応援してくれていると感じ、さらに頑張ろうと思えるのです。そして子どもを信じることです。信じるから信頼されるわけです。信じてくれないと感じると信頼関係は失われ、孤独感を抱いてしまいます。ただ、よく質問されるのが「今の子どもを信じるのが難しい」ということです。この場合はこんなアドバイスをさせていただいています。「今の子どもを信じなくてもいいです。子どもの可能性を信じてあげましょう」と。可能性は誰にでもあります。ですから、“今の現状”ではなく“将来の可能性”を信じてあげるのです。結局のところ、信じて見守ることが親の役割なのでしょう。



飯山先生教えて!

Q1 親子で話そうと思って声をかけても、いつも「うるさい」と会話を避けられてしまいます。親子で話し合えるようにするためにはどうしたら良いのでしょうか?

A1 親が言いたいことがあるときにだけ子どもに向き合おうとするのではなく、子どもが何か伝えてきたときにちゃんと話を聴く姿勢を持っているかどうかです。言おうとするのではなく、聴くということを意識してみてください。



子どもから何か話をしてきたときにチャンスですよ。

Q2 夢を持ってない、やる気がないなどと言って何事にも消極的になってしまう子どもに、どのようなアドバイスをしてあげれば良いのでしょうか?

A2 まずは親御さんが、毎日楽しく生き生きと仕事や生活をされているでしょうか? 何か説教じみたことを言うと、子どもは「自分はなんだ」という気持ちで聞いていることがあります。だから、まずは夢を持つとはどういうことか、やる気をもって毎日を過ごすとはどういうことか、親がそのような姿を見せることです。結局は「言っていること」は聞いていませんが、「やっている」ことは見えていますからね。

8つのすすめ実践例を紹介します!

我が家の「支えよう 子どもの夢と可能性」



金沢市教育委員会では、家庭教育の指針「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」の実践を推奨しています。
これまでに寄せられた実践例の中から、いくつかを紹介します。

「毎日つまらない」と、なんとなく日々生活していた長男が、小学4年生になった時、バスケットボールを習いたいと…。それからは毎日が忙しく、休日もバスケットへ。バスケットがしたいから、帰ってきたらすぐ宿題をする。次の日の準備をする。早寝・早起きするなど、自分で考えて行動するようになりました。「今日ね～」と話してくることは、バスケット中心の話ばかりですが、楽しい時もあれば辛い時もあります。それを支え、見守り、応援できることは、私の喜びであり、幸せなことだと思います。息子に感謝! (中1保護者)

子どもがやりたいと言った課外活動については、極力後押しをしています。一度やると決めたことは簡単にあきらめたいはいけないよ、と教育しています。その結果、水泳は小1～小6まで続け、ひと通りの泳ぎをマスターするようになりました。加えてボーイスカウト活動を小4から現在に至るまで継続し、父親も活動に指導者として関わることで、親子の会話のきっかけにもなっています。中学になって新たに陸上を始め、毎日熱心に取り組んでいるので、学業との両立を今後も応援していきたいです。(中1保護者)

| 令和2年度 | 家庭教育学級の取り組み

1. 『防災について考えよう』

金沢市立小坂小学校 しろはす学級

- 【ねらい】 防災の日(9月1日)を前に
家庭で防災について話し合う機会をつくらう
- 【開催場所】 各家庭
- 【参加者】 全校550家庭に動画URLをお知らせ
- 【内容】 地震などの災害時に、感染防止対策のため集団避難を避けて
自宅で避難生活をする方法など、小坂小学校区での対応策について7本の動画で説明・紹介した。
- 【展望】 自然災害の少ない北陸地方でも、災害に対する心構えと物の
備えが大切だということを各家庭で話し合う機会となるよう動画を作成し、YouTubeで配信している。親子で興味をもって話し合いながら見てもらいたい。



2. 『家庭でできる新型コロナウイルス対策 ~縫わないマスクの作り方~』

金沢市立高岡中学校 たかおか学級

- 【ねらい】 新型コロナが広がらないよう
家にある不要なものでマスクを作らう
- 【開催日時】 令和2年5月~6月20日
- 【開催場所】 各家庭
- 【参加人数】 44名
- 【内容】 YouTubeのネット教材を共有し、不要なシャツで子どもでも
縫わずに作れるマスク作りに取り組んだ。
- 【感想】 ・家にあるものを使って簡単にマスクができるので驚いた。
・不要品であるTシャツの再利用にもなり一石二鳥。
・親子で共有する時間になって良かった。



「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」

家庭は教育の出発点であり、子どもの心のよりどころです。子どもが安らぎを感じながら健やかに成長できるよう、かつて大人自身が家族のふれあいの中から教わった「大切なこと」を、子どもに伝えましょう。

すすめ 1

持ち続けよう

子どもとともに
学ぶ姿勢

子どもががんばったことは大いにほめて、お手伝いや学習、読書などに自ら取り組む意欲を伸ばすとともに、大人も「気づき」や「学び」を得る機会を持ちましょう。

すすめ 2

きちんと守ろう

社会のルール
大人が手本

「子は親を映す鏡」、大人の行動を見ています。自らの行いを通じて、礼儀やマナー、言葉づかいを教え、良くないことはきちんと叱って善悪の判断ができるようにしましょう。

すすめ 3

声かけよう

笑顔であいさつ
朝一番

自分からあいさつすることで会話が生まれ、家族の絆が強くなるとともに、地域の輪も広がります。笑顔のあいさつに心がけましょう。

すすめ 4

創ろう

あたたかい
家族のふれあい

子どもに笑顔で接し、心によりそい共感すると、子どもは安心感を持ち、前向きに考えることができます。家族のふれあいや会話を大切にしましょう。

すすめ 5

大切にしよう

思いやりの心
すべての命

子どもが受けた思いやりは、子ども自身の思いやりの心、ゆずりあいの心につながります。自分や他者の生命の尊さを伝えましょう。

すすめ 6

伝えよう

心のこもった
「ありがとう」

「ありがとう」と言われたうれしさは、人やものに感謝する心を育みます。日頃から、子どもに感謝の言葉を伝えましょう。

すすめ 7

育もう

子どもの健康
「早寝 早起き
朝ごはん」

規則正しい生活リズムと食習慣は、一日のやる気と元気の源です。基本的な生活習慣と外遊びや運動で、たくましい心と体を育みましょう。

すすめ 8

支えよう

子どもの夢と
可能性

家族は子どもの一番の応援団です。いろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育み、夢に挑戦する姿勢を温かく見守りましょう。

家庭教育の相談窓口の紹介

| | | | |
|--|--|------------------|--|
| ① おはなし電話 | 子どもの発達や学校生活、子育てなどに関する相談に応じます。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00) | Tel.076-243-0874 | 金沢市教育プラザ ・学校教育センター ・子ども相談センター ・幼児教育センター |
| ② こども専用 相談ダイヤル | 子ども専用の通話料無料の相談電話です。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00) | Tel.0120-92-8349 | |
| ③ いじめ電話相談 | いじめに関する悩みごとについて、電話でお応えします。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00) | Tel.076-243-1019 | |
| ④ 虐待通報 | 子どもの虐待に関する通報を24時間体制でお受けします。 | Tel.076-243-8348 | 金沢市児童相談所 |
| ⑤ 児童相談所 | 18歳までが対象です。相談内容は養護、保健、心身障害、非行、育成、虐待等です。(平日9:00～17:45) | Tel.076-243-4158 | |
| 経済的に困っている家庭の子どもに関する相談や、ひとり親家庭の相談に応じます。 (平日9:00～17:45) | | Tel.076-220-2422 | 金沢市児童家庭相談室 |
| 身近な地域の家庭教育サポーターを紹介します。 (平日9:00～17:45) | | Tel.076-220-2441 | 金沢市生涯学習課 |

いつでもどこでも家庭教育の情報が手に入るホームページ「かなざわ家庭教育サイト」を開設しています。

詳しくは、「**金沢 家庭教育**」で検索!

金沢 家庭教育

URL https://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/katei_1.html



〒920-8577 金沢市柿木畠1-1
金沢市教育委員会生涯学習課
Tel.076-220-2441 Fax.076-220-2488
E-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp